

23年度スタート
にあたり

大震災より4ヶ月過ぎたが

代表理事 齋藤 昭一

今年は3月11日の東日本大震災発生後の噴煙吹きすさぶ中での出発となりました。私たちは「今出来ることは何か」と、この未曾有の大災害に対して精一杯の支援活動を開始しました。それに対して、すべてに先頭に立ち被災地の対策、被災者の救済に立つべき日本の為政者たちの体たらくはどうしたことでしょうか？ やっと決まって新体制のもと、しっかりと船出するかと思っていた矢先、最高責任者たる復興相の異常な暴言発言からの僅か9日間での辞任劇です。まことに菅おそまつ、寄せ集め内閣の成れの果ての姿でしょうか。いつでも苦しむのは大衆です。被災地の皆様の一人にまで手を差し伸べるような人間として生きる条件を第一義とした政治の出現を期待するものです。

いま全国で展開されているのが節電運動です。神奈川県では「かながわ節電モデルプロジェクト事業

コンソーシアム」を立ち上げることになりました。当会もそこに発起人として参加することになりました。先日の神奈川県による「節電、省エネ、アドバイザー」の任命式には10名をこえる当会のメンバーが参加しました。それぞれの地域で頑張る指標としての目標を聞くたびに目頭が熱くなりました。

そしてコミュニティカレッジが9月に開講します。私たちの目標は環境学習リーダーの養成であり育成です。どうか皆様のお近くにいる方、親しい方、友人等に、ぜひお声掛けをしていただきたいのです。

皆様もそれぞれの地域や職場、サークル等で環境活動を展開しておられることと思いますが、そのなかで当会の部会活動にも、ぜひともご参加ください。そこで良い経験、体験を積んで、次への新たなステップとされることを要望いたします。皆様のご協力、宜しくお願い致します。



節電コンソーシアム（共同事業体）に参加する意義

理事 内藤 克利

環境省補助事業として、かながわアジェンダ推進センターでは、県下のNPO法人および団体と節電コンソーシアム事業を推進することになりました。その目的は、より広い範囲の県民に参加頂き、節電の意義を十分に理解して頂くことにあります。

参加事業体は、かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）、当会、県政モニターOB会、横浜市戸塚区前田町町内会、横浜地区地球温暖化防止活動推進員会議の5団体です。

この5団体は一致協力して、県民の皆様に節電の意義と仕方を理解して頂き、15%削減を目標として7月～9月の3ヶ月間活動します。その結果（毎月発行される東電の電気使用量のお知らせに記載されている当月の使用電力量と前年度同月の使用量から、削減実績が毎月計算します）を節電チャレンジシートに転記して頂き、回収します。

節電コンソーシアムの目標は3000軒、当会は900

軒が目標です。

根気とアイデアが必要です。例えば市のコミュニティーセンターで節電の仕方を教え、協力者を確保します。夏の3ヶ月と冬の3ヶ月のデータを頂くのですから、まずは信頼関係が必要です。いつもお世話になっている自治会もよい対象です。例えば横浜市戸塚区前田町町内会は数年間の苦勞が実り、環境家計簿を付けている町内会として有名になりました。

この節電コンソーシアムに参加し、市民に説明するためには、確かな知識が必要ですが、節電チャレンジシートには豊富な情報が記載されており、日頃のくらしを見直す際にも有効です。このシートは、記入して頂いた部分を切り取って、依頼した節電アドバイザーが回収します。回収したシートは貴重な資料となりますので、皆様のご協力を、よろしく願いいたします。

15%削減目標

平成 23 年度総会を開催

事務局 桑原 清

5月29日(日)15時30分から、かながわ県民センター711会議室で平成23年度総会を開催しました。正会員23名、賛助会員2名が出席し、54名から委任状または議決権行使書の提出がありました。

総会では、齋藤昭一代表理事からの挨拶、来賓の神奈川県環境科学センター所長 渡辺一法様からのご祝辞の後、出席者の互選により井上勝義氏を議長に選出し、第1号～第5号議案の審議に入りました。

各議案とも、活発な質疑応答・意見交換の後、賛成多数で承認されました。

平成23年度に選出された理事・監事は以下の通りで、全員が再任です。

理事 齋藤昭一(代表、水環境部会長)、内藤克利(副代表、新規事業担当、廃棄物GO3部会長)、猪股満智子(副代表、既存事業担当、大気環境部会長)、桑原清(事務局、エネルギー部会長)、田口繁雄(会計・経理、広報部長代行)、荒谷輝正(名簿管理・情報管理担当、ケナフ部会長)、柳川三郎(グリーン部会長)、吉田榮一(地域活動サポート部長、自然環境部会長)

監事 安藤紘史、福田昭三

定款第15条2項に定める代表理事職務代行



写真左：挨拶に立つ
齋藤代表、右は渡辺
所長

写真右：総会で決議
する会員の皆様



かながわコミュニティカレッジ連携講座

「環境ボランティア養成講座」開催

コミュニティカレッジ事業担当 桑原 清

昨年度に続き、かながわコミュニティカレッジ連携講座「環境ボランティア養成講座」を開催します。

今回は「節電・省エネ・新エネ、生活と自然環境」をテーマに、現在最も関心を集めている節電の問題も含め、川井浄水場の見学や鎌倉中央公園の自然観察を取り入れ、より魅力的なプログラムになることを目指しています。講座の最後では受講者が今後どのように環境ボランティア活動に関わっていくかを講師とともに考えます。

この講座は、環境問題に関心があり環境ボランティア活動を始めたいと考えている人や、既に環境ボランティア活動を開始しているが活動の範囲を広げたいと考えている人を対象にしています。

より多くの方が環境問題に関心を持ち、ボランティア活動に積極的に取り組む人が増えることを期待しています。詳しい講座の内容については、後日、当会ホームページにも掲載しますのでご覧ください。

日時	内容	講師
9月6日(火)	オリエンテーション	K・リーダー会 桑原 清
13:30～17:00	大震災後の新しいライフスタイル	省エネ普及指導員 安藤 紘史
9月13日(火)	講義・工作「大豆もやし作り」	K・リーダー会 上田 恵一
13:30～17:00	買い物で社会を変えよう!	K・リーダー会 柳川 三郎
9月15日(木)	鎌倉中央公園 自然観察	現地ボランティア団体
13:30～17:00	大気と人の暮らし	K・リーダー会 猪股 満智子
9月20日(火)	川井浄水場施設見学	川井浄水場説明員
13:30～17:00	横浜水道の歴史	K・リーダー会 齋藤 昭一
9月27日(火)	私の携わった体験型環境教室	K・リーダー会 荒谷 輝正
13:30～17:00	ワークショップ	K・リーダー会 講師全員

『地球環境イベント・アジェンダの日 2011』に出展しました

理事 田口 繁雄

当会は、平成23年6月4日(土)5日(日)の二日間、横浜の日本大通り、神奈川県庁前、象の鼻パークの3か所で開催された「地球環境イベント・アジェンダの日 2011」に出展しました。アジェンダの日は、6月5日の環境の日に合わせて「環境」をテーマにしたイベントとして毎年開催されています。

今年は、環境を配慮した活動を行っているNPO・団体とともに節電や太陽光発電などをテーマとし、当会も発電体験コー



ナを設置し、電気の大切さを実感して頂くとともに、合わせて大気環境部会のパネル展示を行いました。

両日ともに来場した親子(1時間に6~8組)は、発電体験コーナーの自転車発電機の発電体験を、楽しみながら、電気の大切さを感じていました。

反省点として、来場者へ当会の活動をアピールするツールがなかったこと、一日目の当会参加者が2名しか確保できなかったことが、次回への課題となりました。

新入会員からの
メッセージ

神奈川の豊かな自然を愛して

松原 洋一(秦野市)

昨年、神奈川県環境科学センター主催の『環境活動人材育成講座』を受講した折に『環境学習リーダー会』の存在を知り、本年度18期生として入会いたしました。

私は20代のところからスキューバダイビングを趣味として楽しむことができました。長年ダイビングをしてきましたので、それなりに国内海外の海中を見てきました。

そんな中で環境に興味を持ち始めたのは、やはり海水温の上昇による珊瑚の白化現象を目の当たりにしてからでしょうか。皆さんもご存知の通り、あの美しい珊瑚礁が無残にも灰色の瓦礫のようになってしまっている場所が国内外にたくさんあり、何故海水温が上昇するのか、何故地球温暖化現象が起きるのかの疑問を抱え今日に至ります。

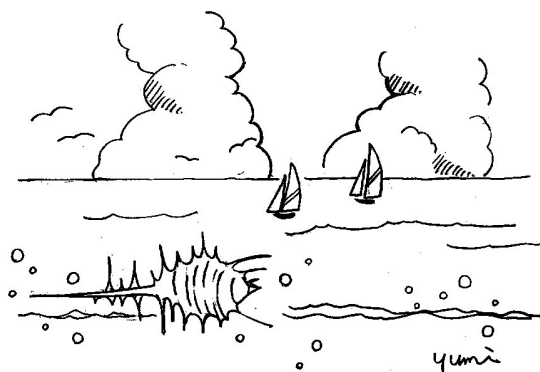
海も豊かな海とそうでない海があると思います。神奈川の海はどうでしょうか？

神奈川の海は悪くないと思います。葉山や逗子、真鶴半島でよくダイビングをしますが、生物もそれなりに生息して、透明度もまあまあといったところでしょうか。しかし、神奈川在住の自分としてはそれで満足してはいけないんじゃないかと思いはじめました。神奈川の海よりもその先の伊豆半島の海、紀州や四国の海、沖縄の海ととっても綺麗で生物が豊富な海はたくさんあります。

昨年の夏には、台風で酒匂川の上流から流木が土砂と共に海に流れ、東伊豆沿岸に大きな被害を与えました。海は川の影響を受けます。川は上流の自然環境に影響されます。つまり、自然環境がよくなり、豊かな水質の川を持てば、その海は豊かになると信じています。

前置きが長くなりましたが、そういう訳で私の所属部会は『水環境部会』と『自然環境部会』にさせていただきます。皆さん、よろしくご指導お願いいたします。

現在、私は東日本大震災により被災した三陸沿岸の海底瓦礫撤去や漁場復興をお手伝いするため、大船渡周辺でボランティア活動しております。当分の間、岩手県と神奈川県を行ったりなので行事関係の参加率が下がり、ご迷惑をお掛けするかも知れませんがよろしくお願ひいたします。



部会活動紹介 ～ エネルギー部会 ～

エネルギー問題に取り組む

エネルギー部会長 桑原 清

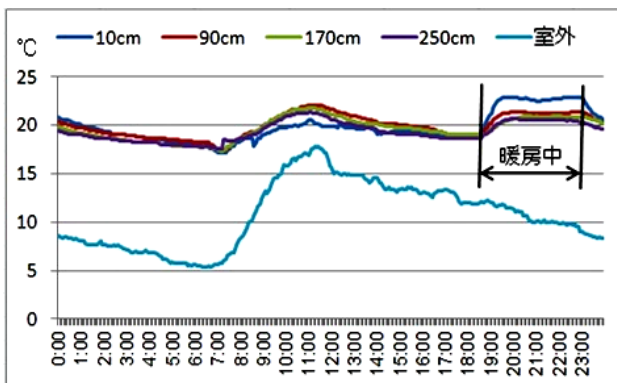
エネルギー部会には 21 名が所属しており、積極的に活動に参加しているメンバーがたくさんいます。エネルギー部会の現在の活動内容を紹介します。

1. 研究テーマ

一昨年から何人かの会員の協力を得て「冷蔵庫の消費電力調査」を行いました。1年間継続して記録した消費電力のデータが昨年まとめ、分析から色々な知見を得て成果を上げました。

今年度からは次の研究テーマ「居室の温度変化測定」に着手しています。一昨年から3年がかりで温度ロガー（数日間連続して温度を測定・記録する装置）を8台購入しましたが、これを居室内の各所に設置し、温度変化を同時に記録するのです。

この冬、数人の会員の協力を得て、試験的に測定しました。室内の温度は、日照の変化や暖房器具の使用等により様々に変化します。例えば垂直方向にロガーを並べ、室内の高さの違いによる温度分布や、室内の異なる場所での温度変化を記録しました。



色々な居室のデータを収集・分析し、冷暖房器具やサーキュレーターの使用法、カーテン・カーペットなどの使い方の工夫で、電気・ガスなどのエネルギー消費を抑えながら、少しでも快適に過ごす方法を見出すのが、この研究テーマの狙いです。また、室内と戸外の温度を同時に測定し、戸建住宅や集合住宅などの建物の違いによる部屋の断熱特性を数値化できるのではないかと期待しています。

本格的な暑さが始まりましたが、夏場は特にエアコン使用時の居室の温度データの収集を計画しています。次の冬には暖房時のデータ収集も計画しており、この研究は今後一年以上続ける予定です。

2. 勉強会

部会報告でも報告していますが、毎月第二水曜日に県民センター会議室で例会を開催しており、毎回十数名の会員が出席しています。それに併せて、協力関係にあるNPO法人アース・エコと合同で勉強会を開き、情報交換とスキルアップを図っています。

毎回、会員がそれぞれの得意分野の調査・研究の成果や話題を持ち込み、披露しています。大震災以降は原発やエネルギー政策の話題が増えましたが、節電や省エネに限らず内容は多岐に亘っています。

3. その他の活動

毎年、神奈川県の新エネ・省エネ学校出前事業に講師登録を行っており、学校からの要望に応じて学校出前授業を行っています。昨年度は県内の小学校2校で4日間授業を実施しました。今年度は「私たちにできる“節電”を考えよう」をテーマに、今のところ小学校1校ですが、授業の実施が決定しています。

その他、当会の事業に協力して、地域の啓発事業やイベントにも参加しています。今年度は「ひらつか環境フェア」、横浜市南区の「南まつり」、横浜市泉区の「親子で楽しむ環境体験教室」など多数のイベントに出展を予定しています。



昨年度の出前授業の様子

勉強会や活動にはエネルギー部会の会員でなくても参加できる場合がありますので、興味のある方はご連絡ください。

部会活動紹介 ～ケナフ部会～

ルミネ北千住屋上での「屋上菜園」見学

ケナフ部会長 荒谷 輝正

はじめに

ケナフ部会の定例の研修会で、6月4日(土)北千住駅ルミネ屋上の「屋上菜園」を見学しました。

「屋上菜園」と言えば、いろんなところでやっていますねと言われるのですが、良く聞いてみると「屋上庭園」のことで、木とか草花等を植えて屋上に庭園を作ったもの、いわば一種のピオトープです。今回見学したのは、屋上に菜園を作るもので、非常に施工例は少ないのですが、段々と普及しているようです。

案内してくれた株式会社ミヨシフロンティア阿部社長によると、会社で運営しているのは新大阪、新宿、茗荷谷、麻布十番等があり、その数は増え続けているとの事です。

大都市の真中で野菜を育てて、日々の成長を見、お互いが野菜の話をし、食べること、またハーブの香り楽しむことで、お互いに共通な話題が出来てコミュニケーションが深まっているようです。

ルミネ北千住屋上野菜概要

ルミネ北千住は JR 常磐線北千住駅前にあり、9階建ての屋上の一部を利用して、5年前から菜園を栽培しています。その他の場所は、芝生、樹木を植えています。

筆者も当初、栽培の指導ということで参画し、その縁で今回、見学をしました。

面積は 60 m²で、屋上全体から見ると少しではありませんが、見学の時はミニトマト、イチゴ、スイカ、サツマイモ等が植えられていました。特にイチゴは食べごろで大変美味しそうでした。

当日、立ち会って頂いた阿部社長(NPO 大江戸野菜研究会理事長)によれば、都市中心部の9階建て商業ビルであるために、屋上菜園を作るに当たり、環境上の配慮が必要であったということです。屋上の強度を検討するには建築会社が、軽くて、栄養価の高い土壌は土壌メーカーが、台風等の襲来で飛ばないように考慮したとのことです。土が10cmの深

さしか無いので、支柱もいろんなメーカーが知恵を出し合い工夫しています。

また、広告会社、衣料会社も興味を持っています。最近の健康志向から、栽培は無農薬、有機野菜で体に良い野菜作りを目指し、NPO 大江戸野菜研究会の中で日夜検討していると話しておられました。日常の管理も大変で、草取り、害虫発生の管理、特に殺虫剤を使わない方針なので、出来るだけ植物を使って害虫発生を抑える方法や風除けの為に特殊な工法で飛ばないように工夫がされていました。

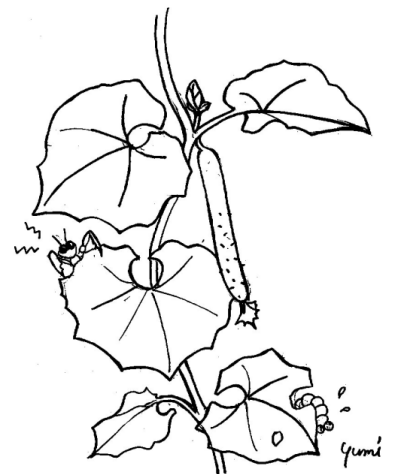
大都市のビル屋上で
無農薬、有機野菜をつくるノウハウ



見学風景

最後に

野菜を育てるといことは珍しいことではないですが、都市の32メートルの高い場所で野菜を作るには、いろんなノウハウが必要です。新鮮な野菜を食べる、緑化面積を増やす、節電効果等、オーナーにもメリットは多いのでは、と思いました。



部会活動



ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動予定（7月下旬～10月）

- ・7月23日 ひらつか環境フェア「ケナフを使った紙漉き実施
- ・8月20日 泉区親子で楽しむ環境体験教室「牛乳パックを利用した紙漉き」実施
- ・8月26日 箱根町役場から依頼 こども消費生活教室「ケナフを使った紙漉き教室」実施
- ・10月8日 はまぎんこども宇宙科学館「ケナフを利用した紙漉き教室」実施
- ・10月22日 はまぎんこども宇宙科学館「二酸化炭素について知ろう」講座実施

部会開催予定（原則、毎月1回実施予定）

- ・7月16日 圃場の管理、ケナフ紙漉き教室の準備

・8月実施期日未定

活動報告（4月～6月）

- ・4月19日 横浜市港南区永谷地区センタで「牛乳パックを利用した紙漉き」開催（東日本大震災の影響で開催を心配されましたが無事開催された。）
- ・5月13日 環境科学センタから依頼の「市町村環境学習担当者研修」でケナフ部会が実施（好評だったとのことで一安心です。）

その他報告

- ・7月29日 相模原市麻溝公園で「段ボールを使って椅子を作り、スケッチをしよう」ケナフ部会所属の会員が参加して実施

エネルギー部会

部会長 桑原 清

活動予定（7月下旬～10月）

- ・7月24日 ひらつか環境フェアに工作教室を出展
- ・7月30日 横浜市南区「南まつり」に人力発電自転車を出展
- ・8月20日 泉区「親子で楽しむ環境体験教室」に人力発電自転車を出展
- ・10月27日 秦野市内の小学校で出前講座1日目定例部会（県民センター710会議室16時～18時）
- ・8月10日、9月14日、10月12日

活動報告（5月～7月）

- ・6月4日、5日アジェンダの日2011に出展定例部会（県民センター710会議室16時～18時）
- ・5月11日 温度ロガーで測定した居室や冷蔵庫内の温度測定の結果報告。部会活動計画。

- 勉強会：グリーンカーテン、工作キットの紹介、朝日新聞「地球教室」の紹介、環境省「再生可能エネルギー導入ポテンシャル」、コンビニの消費電力の報告、日本の食料自給率の報告
- ・6月8日 温度ロガーで測定した冷蔵庫内の温度測定の結果報告。設備購入計画。部会活動計画。勉強会：テレビの消費電力。政府の原子力政策大綱見直し。つばめの夫婦にかくされた秘密。
- ・7月13日 温度ロガーで測定した冷蔵庫内の温度測定の結果報告。部会費による設備購入。イベント・出前授業の活動計画・参加者調整。勉強会：小学生へのエネルギー学習。朝日新聞「地球教室」紹介。チェルノブイリのつばめ。

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定

- ・7月22日（金）10時～17時 O S C 湘南シティ（平塚駅南口徒歩10分）ひらつか環境フェア2011「環境教室」講座を開講～酸性雨・地球温暖化はなぜ？～自動車の排ガスをしらべよう アサガオ「スカーレットオハラ」の苗プレゼントも

- ・9月15日（木）13時～17時（大船駅 鎌倉中央公園・公園管理事務所）かながわコミュニティカレッジ・当会事業「環境ボランティア養成講座」自然観察と保全活動“谷戸イニシアティブを見てみよう”、“大気環境とくらし”担当
- ・11月19日（土）予定 NPOセンター大船

定例会部会（エコアナ方式とエコチエッカー方式の比較・検討）及び12月NO₂測定準備、ろ紙充填作業

- ・12月初旬 KERC 事業として地図入力ソフト「MANDARA」の講習会

活動報告

- ・6月2～3日 NO₂夏期24時間一斉測定 あいにくの雨の中、エコアナライザーとエコチエッカー方式の2種類の捕集管設置

- ・6月4日～5日 10時～5時 日本大通り象の鼻公園 当部会出展と当番（中澤、猪股）
- ・6月12日（日）13時～16時30分 KERC 実習室 NO₂分析 あつぎ環境市民の会から2名、H22年度KERC事業の講座修了生にも参加いただき、総勢14名で分析。2回目の比較測定とあって、昨年12月度の際の手間取りは、本多氏からのサポートもいただき解消できた。12月測定に向け、比較データの検討、対策等を構築したい。

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

活動予定

8月は地域での自発活動をしてください。

9月以降の日程は次の通りです。

9月18日（日）10月9日（日）11月6日（日）

いずれもJR松田駅（山側）9時集合です。

川に入れる服装で、長靴、昼食の用意を忘れずをお願いします。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

- ・7月22日（金）ひらつか環境フェア2011へエコポイント寄付金事業として実施予定、テーマ「エコな誕生日パーティをひらくには」
- ・8月20日（土）第7回親子で楽しむ環境体験教室へエコポイント寄付金事業として実施予定、体験コーナー「ソーラークッキング、エコカルタとり」
- ・9月かながわコミュニティカレッジ連携講座の実施予定、テーマ「グリーンコンシューマー、大豆モヤシづくり」
- ・8月24日（水）酒匂川生き物観察会をK・リーダー

一会エコポイント寄付金事業の担当理事として実施予定

- ・定例会議の開催

活動報告

- ・6月19日（土）小田原市民に対してグリーンカーテンの啓発講座講師を行った。
- ・6月23日（木）県立大原高校へボランティアガイドンを行った。ボランティアに興味を持つ高校生が発掘できた。
- ・6月から7月にかけて今後の活動計画に実施に向けて準備の業務を行った。

自然環境部会

部会長 吉田 榮一

活動予定

- ・10月15日（土）13時30分～17時 横浜山下公園・港の見える丘公園の自然観察会と自然環境部会開催
- ・11月27日（日）10時～12時 かながわ県民センター709号室 報告会 演題：『三陸沿岸の海底瓦礫撤去活動報告』講師：松原洋一氏

活動報告

- ・6月8日（水）10時～16時30分 相模原市鹿沼公園、宇宙科学研究所（JAXA）、淵野辺公園、木もれびの森、相模原沈殿池、相模原公園、麻溝公園で自然観察会と自然環境部会開催 総勢15名参加

- ・7月9日（土）9時45分～14時 県立座間谷山公園（外周路、水鳥の池、里山・湿生生態園など）で自然観察会と自然環境部会開催 総勢7名参加



自然観察会 木もれびの森、非常に広くて深い雑木林

事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

かながわ県民センター会議室、14時～16時

8月11日(木)710号室、9月8日(木)708号室、

10月13日(木)は、ひらつか市民活動センターの予定(時間未定)

事業実施予定

7月22日(金)～24日(日) ひらつか環境フェア OSC 湘南シティ

7月30日(土)横浜市南区「南まつり」蒔田公園

8月20日(土)横浜市泉区「親子で楽しむ環境体験教室」泉区役所

8月24日(水)こども環境体験教室「酒匂川の生き物観察会」(小田原市アリーナ集合)

理事会報告

かながわ県民センター会議室、14時～16時

5月12日(木)708号室 総会準備、コミカレ、アジェンダの日2011、ひらつか環境フェア等について協議

6月9日(木)708号室 総会結果報告、役員の役割分担、各種事業の実施計画等について協議

相模原市立環境情報センター 13時30分～15時

7月14日(木)アジェンダ推進センターコンソシアム事業、コミカレ、各種事業の実施計画等について協議

終了した事業

6月4日(土)、5日(日)アジェンダの日2011 象の鼻パーク(3面に詳細を報告)



参加協力お願いします!

(一部環境省いきものみつけ事業連携)

気候変動を見守ろう

セミの鳴き声がいっこうに聞かれませんか?皆様の地域ではどうですか?大地震のせい?それとも...身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

夏～秋の対象;エゾハルゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ミヤマクワガタ、アオダイショウ、アブラコウモリ、ニホンアマガエル、カッコウ、ヒバリ、モズの高鳴き、ナガサキアゲハ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、ムラサキツバメ、サルスベリ(花)、クズ(花)、ムラサキシキブの実、ヒガンバナ、イチヨウ(銀杏)

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたもの、聴いたものと簡単な地名を報告願います。県版データ化しています。一度確認した場所を毎年追ってみると、変化がわかってよいですね。

送り先:大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール: km_inmt@ybb.ne.jp

(環境省いきものみつけのホームページは、<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第75号

発行日:2011年7月25日

発行者:代表理事 齋藤昭一

編集人:田口繁雄広報部長代行、長村吉洋広報部

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX:050-3488-4943

E-MAIL:npo.k.leader@gmail.com

URL:http://npo-k-leader.net/

寄付、会費等納入口座:ゆうちょ銀行
00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2011 Printed in Japan